

## 卒業証書授与式 ～卒業生から在校生へのバトンタッチ～

3月12日、大津市立北大路中学校第42回卒業証書授与式を挙行了しました。あいにくの雨天となりましたが、多くの保護者様や来賓の方々にご参列いただきました。また、5年ぶりに在校生も出席し、全生徒が一堂に会して卒業式を行うことができました。

卒業式の中で、在校生代表の送辞と卒業生代表の答辞が述べられました。この送辞と答辞は、いわば「卒業生から在校生へのバトンタッチ」でもあります。送辞の中で「私たちは先輩方からたくさんの元気と勇気をいただきました。それを心に刻み、先輩方が築き上げてこられた北大路中学校の伝統を引き継ぎ、よりよい学校にしていきます。」と、卒業生に対する誓いがあり、答辞には「私たちは先輩方にたくさんのことを教えていただきました。そんな尊敬する先輩を手本に、私たちは部活動などに取り組んできました。みんなから尊敬される、そんな先輩になれていたなら嬉しいです。『みんななら、きっといい先輩になれる。北大路中学校をもっといい学校にできる』、そう信じ、みんなのこの先の素晴らしい活躍を3年生一同心から願っています。」と、在校生に託す思いが述べられました。

卒業式前日、卒業生はこれまでの練習の成果を発揮し、しっかりとした態度で予行に臨みました。卒業生の行動、姿勢、歌声からは真剣さが伝わり、体育館にはピリッとした空気が張り詰めました。卒業式前日に見せてくれた卒業生の姿から、在校生は様々なことを感じ学んで式に臨み、来賓や保護者の皆様とともに参列者全員でたいへん厳かでもとても温かい雰囲気 of 卒業式を創りあげてくれました。行動で示す卒業生、そして、卒業生の姿から学ぶ在校生。在校生が卒業式に出席することは、こんなにも素晴らしいことなのだと思感するとともに、そんなみなさんだからこそ、しっかりとバトンを引き継ぎ、さらによりよい北大路中学校にしてくれることを確信しました。

最後になりましたが、卒業生のみなさんの今後の活躍を祈っております。



## 1年間の成長を次の学年に

令和5年度も、修了式の日となりました。修了式では、それぞれの学年の代表に修了証をお渡ししました。「修了」とは、「終わる」という漢字ではなく、「修める」という字で表し、「それぞれの学年で学んだり、経験したりすべき学習や行事のすべてをやり通しました」という意味です。

1年前、今の学年がスタートしました。そのときのこと、そのときの気持ちを覚えていますか？あれから1年、楽しかったこと、うれしかったこと、また、悲しかったこと、苦しかったこと、いろいろなことがあったと思います。そんな様々な経験を通して、みなさんは心も体も成長しました。そんな自分自身に自信を持つとともに、この1年間をふり返り、自ら課題を見だし、次年度につなげていくことも大切です。学年が変わるこの機会に、自分自身と向き合い、未来の自分の生活に生かして欲しいと思います。

2年生は、4月からは最上級生になります。1年後どういった進路を目指すのか、そのためにはどのような努力が必要なのか、また、この北大路中学校をいかに卒業していくのか、しっかりと考え、日々の生活を送るようにしてください。

1年生は、はじめての後輩ができます。先輩として、新入生をリードしてあげてください。また、学校の中では、生徒会や部活動などで中心となっていきます。中学2年生は自分の力を試す時期でもあります。いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。

そして、1・2年生のみなさんがそれぞれの立場で、卒業生から託された「いい先輩」として、北大路中学校をさらによりよい学校にしてくれることと期待しています。

明日から、2週間の春休みに入ります。この休み期間中、事故や怪我などなく健康に過ごし、新年度の準備をしっかりとってください。そして、4月8日の始業式に、元気でやる気に満ちあふれたみなさんの姿が見られることを楽しみにしています。

